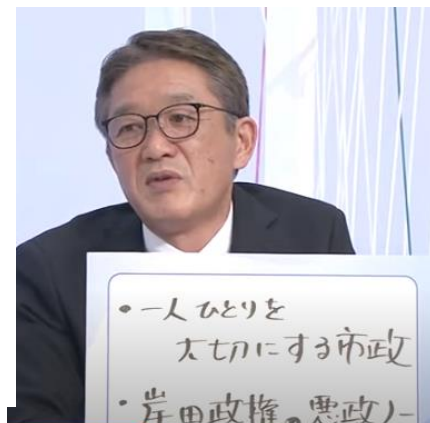


公開討論欠席続き…

自分のことばで語らない候補に負けられない

16日、RKBテレビで市長選の公開討論会が収録されました。出席したのは、津森氏以外の3人。18日の放映で、津森氏は欠席の理由を聞かれると「事務所に聞いてくれ」と返すシーンが写しだされ、これに報道部長は「不参加の理由を事務所に聞いてくれと言っていますが、政治家のことばは重要で、なんで参加しなかったか、自分のことばで語ってほしかった」とコメントしました。自らのことばで語れない政治家が、北九州市の将来を語るはずがありません。こんな人に負けるわけにはいきません。また、末吉元市長が応援する武内氏では、国いいなりの大企業への仕事づくりの市政になり、借金が増えるばかりです。



今回の市長選挙の争点は、国いいなりの市政でなく、くらし応援の市政に転換することです。学校給食費無料化など具体的政策を掲げる、ながた予定候補の必勝に向け最終盤へ力を合わせてがんばりましょう。

応援

「あんたみたいな人に是非、市長になって」



19日、八幡西区の健康友の会市政学習会が行われ、「保健所が7カ所から1カ所に統廃合したことで対応

に遅れが顕著にあらわれた。保健所をもとにもどしてほしい」など、たくさんの要望が出されました。

また、街頭演説でも「今の市長は、国の言いなりであなまたみたいな人に是非、市長になって欲しい。頼みます」と、ながたさんに駆け寄り激励を受けました。



国の医療削減を押し付けてきた 市長の跡継ぎではダメ

市役所病院 OB の仲良し会で市長選挙の話になりました。Iさんが「津森さんは官僚天下りで、武内さんの方が良いみたい」と話すと、Tさんが「武内さんの応援団は末吉元市長ですよ」と。保健所・病院削減で行革の旗振り役をしたことはみなさんの頭に残っていたようで「そうなの」となりました。対話することが大事です。新しい市政への転換は「ながた」を合言葉に、声かけを広げていきましょう。

子育て応援 どの候補者が1番？

笑顔と希望の会に「チラシをください」と若い女性が訪ねてきました。他候補の事務所にもチラシを取りにいき、「ママ友とチラシを読み比べて市長選挙についておしゃべりする」そうです。「子育てについて、どの候補者の政策がいいのか話し合いがされると思います」と20枚のチラシを持って帰りました。



市長選挙告示

ながた候補の出発式

1月22日(日)10時 小倉北区金田公園(小倉西郵便局ヨコ)

